

6 国際交流

1) 提携校との交流

海外大学との学術教育交流については、開学した平成18(2006)年の韓国・又松(ウソン)大学を皮切りに、平成20年には中国・承德医学院と提携を調印している。

平成21年7月21日には、中国の二大大学のひとつである清華大学の美術学院と、(1)教員及び研究者の交流、(2)学生の交流、(3)学術資料、刊行物及び情報等の交換、(4)共同研究・シンポジウムの実施を目的とする学術教育交流の協定を調印した。また、同日、鄭曙暘美術学院長が、「北京オリンピックに見る現代中国のデザイン」と題する一般市民を対象とした調印記念講演を行った。

11月22日から25日には、清華大学美術学院における「清華国際芸術・設計学術月間」招待講演に原田学長が特別講師として招聘され、「異分野横断型連携教育の可能性」と題する招待講演を行った他、今後の学術交流の具体化に向けて打ち合わせを行った。

2) 提携校以外との交流

(1) 21世紀東アジア青少年大交流会(インド)【(財)日本国際協力センター(JICE)】

JICEからは「21世紀東アジア青少年大交流会」参加者の受け入れ依頼があり、6月22日にインド人の中・高校生(訪問団)20人および引率・通訳2人を芸術の森キャンパスに受け入れた。

受け入れにあたり、デザイン学部教員によるワークショップ「体感温度と実際の温度について考える」ならびに看護学部教員による妊婦や高齢者の模擬体験をするワークショップ「体験を通じて考える」を企画し、本学の両学部の学生ならびに市立高専学生総勢15人が参加した。

(2) ノボシビルスク日本語青年訪問団(ロシア)【(財)札幌国際プラザ】

札幌市はロシアのノボシビルスク市と姉妹都市提携をしていることから、ノボシビルスクにて日本語を学んでいる日本語青年団の受け入れ依頼が財団法人札幌国際プラザよりあった。

その結果、7月9日、ロシア人青年4人ならびに通訳・関係者3人が芸術の森キャンパスに来学し、本学デザイン学部教員による講義と演習「3Dコンピュータグラフィックスの世界」ならびに「Humanscape / ヒューマンスケープ」を受講した。後者については空間デザインコースの学生が同時に受講し、併せて交流を図った。

(3) 雲林科学技術大学(台湾)

8月5日、雲林科学技術大学(台湾)の学生22人ならびに教員5人が芸術の森キャンパスを訪問した。製品デザインコースの教員2人が対応し、お互いに大学の紹介を行った。

(4) 華梵大学(台湾)

8月11日から14日まで華梵大学の学生8人ならびに教員2人が芸術の森キャンパスを訪問し、製品デザインコースの学生15人ならびに本学教員2人と学生交流ワークショップを実施した。

(5) 「青年研修 保健医療／感染症対策／マレーシア」【(独)国際協力機構(JICA)】

JICAの青年研修事業に採択され「青年研修 保健医療／感染症対策／マレーシア」の委託を受けた。この結果、10月28日から11月10日までマレーシア人の医師および看護師計12人が桑園キャンパスを訪問した。受け入れに際し、看護学部教員5人ならびにJICA経験のある編入学生1人が準備委員会を組成し、保健医療ならびに感染症対策に関する講義の企画運営を行った。